

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・漢字や文法などの定着を確実なものにするために、小テストおよび学習コンテストを実施する。 ・辞書やタブレット PC 等で、語句を調べることを習慣化させ、語彙力を身に付けさせる。 ・授業の予習、復習にあたる課題を提示し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。	・「話すこと・聞くこと」では、人との関わりの中で、伝え合う力を身に付けさせる。 ・「書くこと」では、文章を書くことに慣れることで、言葉による見方、考え方を働かせ、自分の考えを適切に表現する力を身に付けさせる。 ・「読むこと」では、様々な文章を読むことで、自分の思いや考えを広げたり、深めたりさせていく。 ・3つの領域の関連を図りながら学習を行う。	・個人で考える場面とグループで話し合う場面など、発問にあった活動を行い主体的な学びにつなげていく。 ・タブレット PC など ICT 機器を活用した意見交流の場を設け、一人一人が充実した対話的な学びができる環境を作っていく。	・毎授業、目標を定め、生徒が自らの学習過程を振り返り、課題をもって学習していける評価を行う。 ・各提出物の評価観点を明確にし、細やかなチェックを行う。 ・単元のまとめまでに、学習の途中経過や進度を適宜、確認し、評価を行う。 ・単元のまとめとして、完成した作品や発表等で評価を行う。

◎単元(1～数十時間の学習内容のまとめ)は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	【単元】・『教材』	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	1			
	【詩】 『見えないだけ』	1	語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	【物語文】 『アイスプラネット』	4	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	【聞く】 「意見を聞き、整理して検討する」	1	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	【文法】 『単語をどう分ける?』	2	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
5	【話す】 「魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする」	5	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。	自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	【古典】 『枕草子』	2	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	【書く】 『自分流「枕草子」を書く』	1	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にすることができる。	

				表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	
【説明文】 『クマゼミの増加の原因を探る』	4	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。		文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
6【情報】 『情報整理のレッスン 思考の視覚化』 【書く】 『情報を整理して伝えよう職業ガイドを作る』	1 5	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。		目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
【語彙】 『熟語の構成』	1	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。			言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
【短歌】 『短歌に親しむ』 『短歌を味わう』	1 5	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
【説明文】 『言葉の力』	2	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。		文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
7【言葉】 『類義語・対義語・多義語』 『抽象的な概念を表す言葉』	1 2	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。			言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
9【情報】 『メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる』	2	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。		目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
【読書】 『読書を楽しむ』 『翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま』 『わからないは人生の宝物』 『本の世界を広げよう』	1か3	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。		観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。

9【物語文】 『ヒューマノイド』	4	話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【随筆】 『字のない葉書』	3	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【書く】 表現を工夫して書こう 「手紙や電子メールを書く」 【推敲】 表現の効果を考える	3 1	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【言葉】 「敬語」	1	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【話す・聞く】 「聞き上手になろう」 質問で思いや考えを引き出す	2	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。	論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
10【言葉】 「同じ訓・同じ音をもつ漢字」	1	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【説明文】 『モアイは語る―地球の未来』	5	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	文章の構成や論理の展開について考えることができる。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【言葉】 「根拠の吟味」	1	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【書く】 適切な根拠を選んで書こう 「意見文を書く」	5	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【古典】 『聴きひたる月夜の浜辺』	1	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
【古典】 『平家物語』	1	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に

	音読を楽しむ 『扇の的一平家物語』	3	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。		して、思いや考えを伝え合おうとする。(
11	【古典】 『仁和寺にある法師—徒然草』	3	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【古典】 『漢詩の風景』	3	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【説明文】 『君は最後の晩餐を知っているか』	3	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【言葉】 『具体と抽象』	1	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
12	【話す・聞く】 「話し合い(進行)」 話し合いの流れを確認しよう	1	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【文法】 走る。走らない。走ろうよ。 「用言の活用」	1	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【話す・聞く】 「立場を尊重して話し合おう」 討論で視野を広げる	4	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【読書】 『「自分らしさ」を認め合う社会へ』 『父と話せば』『六千回のトライの先に』	1	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【物語】 『走れメロス』 【書く】 「作品の魅力をまとめ、語り合おう」	6 2	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章に	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。

				なるように工夫することができる。	
1	【文法】 1字違いで大違い 「付属語」	5	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【書く】 「描写を工夫して書こう」 心の動きが伝わるように 物語を書く。	5	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【言葉】 「話し言葉と書き言葉」	2	話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。		話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。
2	【言葉】 「送り仮名」	1	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【書く】【話す・聞く】 国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義を考え、コピーを作る」	4	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
	【詩】 『鍵』	2	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
3	「国語の力試し」	3	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解することができる。 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。
			小テストや提出課題、定期考査等	小テストや提出課題、定期考査等	小テストや提出課題、定期考査等

※【知識・技能】(1) ア「第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れること」については、単元ごとに指導を行い、書いたり、読んだりすることで生活に生かすことができるよう指導する。